

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第10号

著者	滋賀医科大学
発行年	2010-04-02
URL	http://hdl.handle.net/10422/9102

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2010.04.02 平成 22 年 第 10 号



医師国家試験合格率が全国 1 位！！

H22.03.29

第 104 回医師国家試験において、本学の合格率は 99.0%で見事全国第 1 位でした。

また、新卒者については、医師国家試験、看護師国家試験のいずれにおいても、100%という成績をおさめることができました。

以上)を設定し、成績下位 20 名の学生に対する個別指導・助言を行う「後期アドバイザー制度」の導入、卒業論文指導教員による復習や国試対策へのきめ細かな指導、補講の内容の充実など、様々な取組を実施してきました。

本学では、平成 16 年度より、国家試験合格率に目標値(医師 95%以上、看護師 98%以上、保健師 95%

今後、高い合格率を維持できるよう努力してまいります。

初の国立大学順位付けで全国 2 位！！

H22.03.25

平成 16～19 年度までの 4 年間の教育・研究内容や業務の実績を報告書にまとめ、国立大学法人評価委員会に提出し評価を受けた結果、本学は第 2 位という高評価を得ることができました。

法人評価委員会から特に評価が高かった項目は以下のとおりです。

学生支援	アドバイザー制度による学習相談等を実施するとともに、新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム「地域『里親』による学生支援プログラム」において、入学初年より卒業生や地域の方々が学生の成長を支援する里親バンクを設立し、卒業生と地域が一体となって学生を支援する体制を整備している。
財務分析・資産運用	経営協議会委員からの意見を取り入れ、四半期ごとの財務分析について経営効率の観点から人件費、一般管理費及び診療経費が収益に占める割合の分析を行うとともに、短期運用による資産運用を実施している。
進捗ナビ	評価作業等に係る作業の効率化・合理化のため、平成 18 年度に大学独自に開発し試行した「目標・計画進捗状況管理システム」(進捗ナビ)を本格稼働し、平成 19 年度は紙使用量を 79.2%節約するなどの効果が現れている。
学内 ESCO 事業	学内 ESCO(Energy Service Company)事業を実施し、平成 19 年度エネルギー優秀事例全国大会(財団法人省エネルギーセンター主催)において、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞するなど、省エネルギー対策や環境に配慮した取組を継続的に実施している。

オタワ大学と学術交流に関する協約を締結

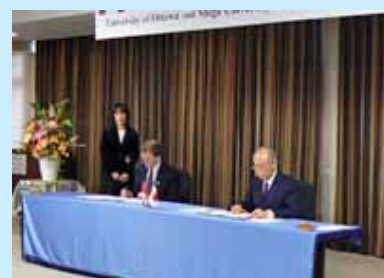
H22.02.16

平成22年2月16日(火)、本学にカナダのオタワ大学アラン・ロック学長らを迎え、学術交流に関する協約を締結しました。今回の調印式は、従来とは異なり、2大学間だけの交流にとどまらず、カナダから民間企業(IBM等)・政府機関(カナダ大使館等)の方々も参加され、執り行われました。

また、調印式に先立ち、両校で研究カンファレンスを実施し、脳疾患、再生医療・技術等についての発表・討

議を行いました。このほか、本学の動物生命科学研究センターを見学いただくなど、種々の交流を通じて友好を深めることができました。

オタワ大学では、カナダ政府の援助のもと、カナダ・日本・ドイツの産学機関からなるグローバルネットワークの構築を進めており、今回の協約は、ネットワーク確立による国際産学連携の促進につながるものと期待されています。



「大学を支える人材を育むための宿泊研修」を実施

H22.01.08



グループディスカッションの様子

1月8日(金)～9日(土)に「大学を支える人材を育む宿泊研修」を琵琶湖リゾートホテルにて開催しました。研修には、役員及び教職員計55名の参加があり、それぞれの役割を共有するとともに、教職員一丸となって積極的に課題に挑戦する土壌を創り出せるよう、講演・グループディスカッション・全体討論等を行いました。

また、ご講演をいただいた聖泉大学人間学部教授 井戸和男先生から

は、「自己実現より他己実現が求められている時代に病院のある大学は最高の環境である。部門間の調整は多少オーバーラップするぐらいが良い。それぞれが責任をもってやるのが大事。」とのコメントをいただきました。

この研修は来年度も引き続き開催し、それぞれの提案を更に深めていけるような機会にするとともに、大学全体で具現化に向けた取り組みを進めてまいります。

第1回しが医工連携ものづくり産学官連携戦略会議が開催されました

H22.01.25

本学は、滋賀県・立命館大学・しが医工連携ものづくりネットワークの複数企業とともに、国が平成21年度に実施した「産学官連携拠点」に「しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」として採択されました。

当拠点の第1回戦略会議・幹事会合同会議が、1月25日(月)にコラボしが21にて開催されました。拠点に参加する各機関から約20名(本学か

らは、経営等担当事務・研究協力課長等)が出席し、拠点概要、拠点推進本部設置要綱の制定、専門推進部会の構成機関および活動内容等について検討が行われ、全国7地域程度に1~2億円を3年間支援する文部科学省の事業「地域イノベーションクラスタープログラム」に、当拠点として応募することとなりました。



各機関から約20名が参加

外国人留学生との交流会「国際交流の夕べ」を開催

H22.01.27



母国の歌や料理を披露

平成22年1月27日(水)に「国際交流の夕べ」と題して、滋賀医科大学に在籍する外国人留学生らとの交流会を開催しました。

交流会には、本学に在籍している外国人留学生、外国人研究者をはじめ、日ごろよりご支援いただいている関係団体、ボランティアの方々、教職員など総勢90名が集い、親睦をはかりました。

今年は留学生等が日頃お世話いただいている方々への感謝をこめて、母国の歌やお料理を披露するなどの内容で、参加者全員が大いに楽しむことができました。

また最後には、参加者全員が管弦楽団の伴奏で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、次回の再会を約束し、幕を閉じました。

シンポジウム「在宅ケアで幸せ家族」を開催

H22.02.14

本学では、地域貢献事業として障害者等支援のためのシンポジウムを毎年開催し、保健・医療・福祉関係の現場で働く人や当事者・家族の皆様にも積極的にご参加いただいておりますが、この度、2月14日(日)に大津市におの浜にある滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海)大会議室においてシンポジウム「在宅ケアで幸せ家族」を開催いたしました。

今回のシンポジウムは、一般の多くの方々へ在宅ケアについて関心を持って頂くために、本学医療福祉教

育研究センター長 三ツ浪健一(教授)の司会進行の下、地域包括ケアセンターいぶきセンター長 畑野秀樹氏ならびにあおぞら診療所長 川越正平氏・龍谷大学社会学部教授 大塩まゆみ氏・滋賀県健康福祉部医務薬務課 草野とし子氏の4名のシンポジストによる医療・福祉・行政それぞれの立場からの講演の後、参加者らとシンポジストの間で質疑応答や活発な討論が行われ、充実したシンポジウムとなりました。対話は約30分間実施され、貴重な意見交換の場となりました。



司会を務めた三ツ浪教授

附属病院でひなまつりコンサートを開催

H22.03.03



「崖の上のポニョ」や「川の流れるように」など全9曲の演奏でした



ひな人形に見立てたお花

3月3日午後3時30分から、附属病院の玄関ロビーにて、例年ご協力くださる大正琴琴城流琴昂会のみなさんによる「ひなまつりコンサート」が行われ、入院患者さんをはじめ多くの方々が、大正琴の雅な音色に耳を傾けました。

コンサートでは、アンコールも含め全9曲が演奏されました。来場された方々は、体全体でリズムをとったり、歌詞を口ずさんだりしながら、思い思いに優雅なひとときを楽しんでおられました。

しめくりに演奏された「琵琶湖周航の歌」では、配布された歌詞カードをみながらの大合唱が行われ、会場に

心安らく感動的な歌声が響きわたりました。

会場には、NHK(おうみ発610)とびわ湖放送(キラりん滋賀)の取材班が訪れており、コンサート終了後、NHKのインタビューに応じてくださった患者さんは「とても素敵な時間でした。明日からまたがんばろうと思いました。」と感想をおっしゃっておられました。

また、2月23日～3月3日には附属病院の玄関ロビーに花を顔に見立てたひな人形を飾りました。これは、患者さんに季節を感じてもらおうと、看護部華道部により製作されたものです。

都市エリア産学官連携促進事業(発展型)平成21年度研究成果報告会を実施

H22.03.04

都市エリア産学官連携促進事業(発展型)は、平成19年度から3年間の計画で文部科学省から採択され、びわこ南部エリア内の大学・企業等が産学官連携により研究開発を実施しています。

本事業は、がん患者の腫瘍摘出手術をターゲットに「悪性腫瘍部位の特定」「術中の腫瘍の悪性度の確定診断」「従来の体腔鏡では到達が困難な部位に対する悪性腫瘍の摘出」等、一連の治療が手術室などオンサイトで迅速に実現できる「患者負担軽減のためのオンサイト診療システム」の実現を目指すものです。

今回の研究成果報告会は、本事業により実施した研究開発の成果および進捗状況を広く県内企業等に公表・普及し、産学官連携活動による新事業創出の促進を目指し、平成22年3月4日(木)琵琶湖ホテルで開催され、数多くの方々が参加しました。

本学からは、外科学講座来見准教授が「体腔鏡手術ロボティック技術の開発研究」について、MR医学総合研究センター犬伏教授が「ナノ粒子診断技術の開発研究」について、研究成果報告を行いました。



MR医学総合研究センター
犬伏教授

平成 21 年度 滋賀県 肝炎医療従事者研修会を開催

H22.03.06



シンポジウムの様子

平成 22 年 3 月 6 日(土)滋賀県看護協会にて、滋賀医科大学医学部附属病院肝疾患相談支援センター、大津赤十字病院、滋賀県、滋賀県看護協会の共催で「平成 21 年度 滋賀県肝炎医療従事者研修会」を開催しました。

「ウイルス性肝炎診療の最前線」をテーマとして、滋賀県健康福祉部健康推進課 角野課長より「肝疾患診

療に対する施策と動向」、大津赤十字病院第一消化器科 早雲部長より「B 型肝炎の診断と治療」、滋賀医科大学医学部附属病院肝疾患相談支援センター 仲原医師より「C 型肝炎の診断と治療」、同、函師看護師(肝炎相談員)より「インターフェロンの副作用など」についての講演が行われました。

甲賀地域で里親 GP の「宿泊研修」を実施

H22.03.08

文部科学省に学生支援 GP として採択された「地域「里親」による医学生支援プログラム」(略称「里親 GP」)の事業として、3 月 8 日(月)・9 日(火)に、学生・教職員約 40 名が参加し、甲賀地域(湖南市・甲賀市)で宿泊研修を実施しました。

1 日目は、石部医療センターの外観を見学した後、甲西リハビリ病院で施設の概要説明を受け、リハビリテーション訓練室など現場の見学を行いました。

その後、「里親」の佐藤先生が開業されている佐藤眼科(水口町)の外観を見学した他、大池寺では、ご住職のお話を伺いながら小堀遠州の作と伝えられる蓬莱庭園や、本堂を拝観しました。午後から訪問した公立甲賀病院では、院内見学に続いて市民の方々との交流会(意見交換会)を設けていただきました。

引き続き、水口医療センターの外観を見学し、宿泊施設へと向かいました。

た。宿泊施設では、恒例の交流会として、地域で活躍されている先生方から地域医療の現状等について貴重なお話を聞かせていただいた後、訪問先の病院等の先生方やプチ里親の方々も交えて、意見交換・懇談を行いました。

2 日目は、地元ボランティアガイドの方の説明を受けながら、信楽町内で作陶の実演や登り窯などを見学した後、紫香染病院では、5～6 人の小グループに分かれて重症心身障害児(者)病棟の見学と併せて食事介助等の貴重な体験をさせていただきました。各病院等の方々のご協力により、2 日間とも盛り沢山で充実した内容になり、学生達にとって、地域医療について考えたいへん有意義な研修となりました。

なお、甲西リハビリ病院では NHK・中日新聞・びわこ放送の、公立甲賀病院では NHK の同行取材がありました。



甲西リハビリ病院にて



公立甲賀病院での意見交換会



紫香染病院では食事介助もさせていただきました

滋賀医科大学学外有識者会議を開催

H22.03.09

3月9日(火)、滋賀医科大学学外有識者会議を開催し、5名の委員にご出席いただきました。会議に先立ち、本会議委員で議長をおつとめ頂いていた日高 敏隆先生のご逝去を悼み、また、その御業績を偲び黙禱を行いました。

会議では、学長挨拶の後、新しい議長として曾我 直弘委員(滋賀県立大学学長)が選出されました。引き続き、本学の活動状況について、服部理事から教育・研究面、柏木理事か

ら病院・診療面、村山理事から経営等について、脇坂理事から総務・人事等について説明を行いました。

曾我議長の進行のもと、各委員から、財務上の課題、基礎医学教育、看護教育、卒業生への情報提供と同窓会との連携、子育て支援、学生の海外研修、国際交流、学生のモチベーションアップの仕組み、国立大学法人のあり方についてなど、様々なご意見・提言をいただきました。



馬場学長による挨拶

イノベーションフォーラムin滋賀が開催されました

H22.03.09



臨床検査医学講座 茶野准教授

JSTイノベーションサテライト滋賀主催の「第2回イノベーションフォーラムin滋賀」が、3月9日(火)大津市のコラボしが21にて開催されました。

今回のフォーラムは、文部科学省および経済産業省が実施する「地域中核産学官連携拠点」に、本学・滋賀県等が「しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」として採択されたことから、「医工連携ものづくりの発展に向けて」と題して開催され、拠点事業の概要紹介や平成20年度のJST「シー

ズ発掘試験」の研究成果報告が行われました。

本学からは、臨床検査医学講座 茶野 徳宏 准教授が「乳癌治療の成績を改善する迅速診断キットの開発と応用」と題して、研究成果報告を行いました。専門性の高い内容でしたが、医療費削減や乳癌患者の安心感を高める効果が伝わる解りやすい説明で、研究の早期完成への期待感がより深まったフォーラムとなりました。

留学生等バス研修旅行を実施

H22.03.11

今回は、滋賀県の文化施設と地域理解と交流を深め、より有意義な留学生生活とするため、佐川美術館、大池寺蓬萊庭園、忍術屋敷を訪問しました。

佐川美術館は、佐川急便の創業40周年記念事業の一環として1998年に琵琶湖を望む美しい自然にかこまれた守山に建てられました。日本を代表する日本画家の平山育夫氏の「平和の祈り」と名付けられた日本画の展示室や、ブロンズの詩の佐藤忠良館、守破離をコンセプトに樂吉左衛門など日本の芸術を鑑賞しました。

また、南出農園でのいちご狩りでは、章姫、紅ほっぺなど真っ赤ないちごをおながいっばいになるまで堪能し、また写真を撮り合い、和気あいあいとした時間を過ごしました。

水口町にある大池寺ではご住職に丁寧な説明をいただき、蓬萊庭園ではお抹茶をいただきながら、海に見立てたという小堀遠州作の庭を鑑賞させていただきました。

忍術屋敷では、いろいろなからくりの説明をうけ、子供が大はしゃぎでかまわっていました。



忍術屋敷も見学しました

平成 21 年度滋賀医科大学卒業式及び学位授与式を挙行し、209 名の門出を祝いました

H22.03.25



平成 21 年度卒業式が、3月25日(木)に本学体育館で挙行され、医学科学生102名、看護学科学生73名が卒業しました。

卒業式では、学位記の授与に続き、馬場学長から告辞があり、「ただ漠然とガイドラインやマニュアルに頼って医療を行うのではなく、細心の観察力を持って、患者に接し、適切な対応を行うことにより、はじめて患者さんが満足する医療を提供できます。初心を忘れることなく、志を高く持ち続

け、その達成を目指し、「一隅を照らす」人として日々努力を重ねて下さい。」と激励しました。卒業生代表の謝辞で幕を閉じ、閉式後は記念撮影を行いました。

午後からは、管理棟2Fの大会議室に場所を移して大学院学位授与式が挙行され、22名に博士(医学)の学位記が、12名に修士(看護学)の学位記が学長よりそれぞれ授与されました。

スポーツ・健康イノベーション研究会が開催されました

H22.03.26



社会医学講座 北原講師

3月26日(金)立命館大学BSKローム記念館にて、同大学主催による回「スポーツ・健康イノベーション研究会」が開催されました。

この研究会は、「スポーツ・健康産業研究センター」の活動の一環として、健康を増進・維持させるための学問的発展と技術の進歩、健康的な生活習慣の普及、地域的な活動による総合的な取り組みの推進をめざし、活動しているものです。今回は第2回目の開催で、本学は本会の後援者として協力しています。

今回の研究会では、立命館大学の教官による講演等の後、学生・研究者によるポスターセッションが開催されました。

本学からは、ポスターセッションに社会医学講座北原照代講師が参加し、「手話アニメーションを用いた聴覚障害者に対する乳がん検診受診支援システムの研究」というテーマでプレゼンテーションおよびポスター展示を行いました。会場では福祉関係の方々から熱心な質問がありました。

附属病院で木管五重奏団コンサートを開催

H22.03.28



3月28日(日)午後4時から、琵琶湖を臨む附属病院D病棟6階の展望レストランにて、本学学生・卒業生6名(伊藤文、浮網聖実、岡愛衣里、谷知実、西村公宏、福山佳代)による「滋賀医科大学木管五重奏団コンサート」が開催されました。

フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルンという5つの木管楽器により、ジブリの名曲や童謡など計6曲が演奏されました。また、演奏の間には、メンバーによる楽器紹介なども行われ、当日ご来場いただいたたくさんの方々とともに、素晴らしい音楽の時間を共有することができました。

平成 2 年 4 月 ~ 6 月の行事予定

4 月 6 日 入学式
5 月 15・16 日 浜松医科大学との学生交流会
5 月 29 日 解剖体慰霊法要

大学概要



所在地：
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
1974年10月1日

活動内容：
教育・研究・診療

役員：
学長 馬場忠雄
理事（教育等） 服部隆則
理事（医療等） 柏木厚典
理事（経営等） 村山典久
理事（総務等） 谷川成美



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012
FAX: 077-543-8659

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

報道された滋賀医科大学 (平成22年1月～平成22年3月)

教育関係

2010/03/30	京都	医師試験に7538人が合格
2010/03/30	中日	医師試験に753人合格
2010/03/30	中日	先輩が学生の「里親」
2010/03/26	中日	国立大評価を順位付け 文科省 数値化、交付金に反映
2010/03/10	中日	番号あった！受験生 満願の春
2010/03/02	毎日	9953人巣立ちのとき 県立高校卒業式
2010/02/26	各紙(3紙)	2次試験前期開始 2869人挑む
2010/02/16	各紙(2紙)	高校進学 未来の道.
2010/02/07	読売	病院の実力 副鼻腔炎に内視鏡手術
2010/02/04	京都	国立大学 2次.
2010/02/04	毎日	大学生が無料塾
2010/01/30	日経	国立大学2次.
2010/01/21	中日	センター試験・主要大学予想ボーダーライン
2010/01/16	中日	お守り片手に挑む姿も 県内 6会場センター試験始まる

研究関係

2010/03/05	京都	がん治療の先端技術発表
2010/03/05	中日	障害児介護実態を報告
2010/02/04	毎日	介護者の体にも優しい北欧式介助法とは
2010/01/30	朝日	国の重点支援枠期待「しが医工連携」初会合
2010/01/29	読売	睡眠 秘訣伝授 規則正しい起床を
2010/01/14	読売	大学の技術企業で活用を
2010/01/07	読売	塩分を取りすぎると「要介助」の危険増
2010/01/07	読売	塩分取りすぎ 要介助の危険
2010/03/05	京都	がん治療の先端技術発表

病院関係

2010/03/27	読売	東近江病院整備委が会合
2010/03/26	京都	東近江圏の地域がん診療連携拠点 滋賀医大付病院を指定
2010/03/21	朝日	耳・鼻・のど 睡眠時無呼吸症候群 子の寝姿ビデオ撮影 相談を
2010/03/19	朝日	耳・鼻・のど 睡眠時無呼吸症候群 妻の説得に折れて受診
2010/03/18	朝日	耳・鼻・のど 睡眠時無呼吸症候群 自分もくるいんだ 認定医へ勉強.
2010/03/17	中日	再発多い女性性感染症
2010/03/09	毎日	慢性腎臓病あなたは大丈夫？世界腎臓デー
2010/03/07	読売	病院の実力 血液がん
2010/02/27	中日	地域医療の問題解決へ整備委員会を開催(東近江)
2010/02/27	各紙(4紙)	滋賀医科大から医師派遣も(東近江)
2010/02/19	読売	臓器移植推進 院内コーディネーター導入
2010/02/07	読売	中耳炎 進む聴力改善術
2010/02/04	日経	「早石道場」から多彩な才能
2010/01/28	中日	常勤医数の偏り進む
2010/01/18	産経	家庭と健康 「脳血管内治療」

2010/01/18	京都	名医に巡り会った幸せ
2010/01/11	産経	家庭と健康 「くも膜下出血」.
2010/01/10	読売	病院の実力 26 目の病気
2010/01/06	朝日	小児病棟 遊び心満載

社会連携関係

2010/03/06	中日	医療講演会 クロウン病の病態・栄養療法・食事療法など
2010/03/05	毎日	第 5 回滋賀医科大学炎症性腸疾患センター主催医療講演会.
2010/03/04	読売	第 5 回滋賀医大炎症性腸疾患センター主催医療講演会
2010/03/01	京都	県内 13 大学・短大コンソーシアム 機能拡充、来月法人に
2010/02/28	京都	医療講演会「クローン病の QOL 向上を目指して」
2010/02/27	産経	市民公開講座「ストップ-ザ・子宮頸がん」.
2010/02/23	読売	滋賀医科大学第 9 回市民公開講座
2010/02/13	京都	市民公開講座「ストップ-ザ・子宮頸がん」
2010/02/10	読売	県民の生命を守る 元気な産業を育てる
2010/02/10	毎日	県民の命を守る
2010/02/07	京都	夢や課題考える機会に
2010/02/03	京都	子宮頸がん市民公開講座
2010/01/19	読売	市民の健康を考える会「栄養で防ごう脳の病気」
2010/01/10	京都	腸のはたらきから考える ようこそ学長さん

管理運営

2010/03/27	朝日	国立大順位付け 現場が不満
2010/03/26	毎日	奈良先端大 400 万円増額
2010/03/25	各紙 (3 紙)	国立大を順位付け 滋賀医大が 2 位